



日本共産党八王子市議団ニュース

やまこし拓児の 議会報告

19期-No.20
2012年1月1日

発行
日本共産党八王子市議団
TEL 620-7317
FAX 626-3398



日本共産党八王子市議団は、2011年第4回定例会で、「福島第一原発事故による放射能汚染の除染と全面賠償、充実した復興対策を求める意見書」を提案し、賛成多数で可決しました。

原発事故被害者に全面賠償を 東京電力・原子力業界の負担でー意見書可決

この意見書は国に対し①東京電力及び原発関連業界の負担で放射能汚染の除染と全面賠償を行なうこと、②被災者の生活を支援と復興に福島県の自治体が独自に取り組めるよう国の財政支援を含む充実した対策を講じることを求めています。

た。意見書は国に対し①東京電力及び原発関連業界の負担で放射能汚染の除染と全面賠償を行なうこと、②被災者の生活を支援と復興に福島県の自治体

民主党議員が「東京電力には金がない」と 反対討論ー被災者から怒りの声

この意見書に対し、東京電力出身の議員（民主）が「東京電力にはお金がない」から国の責任も追及すべきであり、意見書には反対するとの反対討論を行いました。

傍聴に来ていた福島県浪江町からの被災者は、「反対討論は腹立たしい。東京電力はどう責任を取るつもりなのか」と怒りを抑えきれない口調で語りました。

市民の願い実現へ今年もがんばります

新しい年がスタートしました。市民のみなさんにとって実り多い年になりますよう今年も力を尽くします。

昨年3月の東日本大震災と福島第一原発事故は、今なお困難が続いています。被災地の

市議会議員 やまこし拓児

第4回定例会で提案された意見書・決議

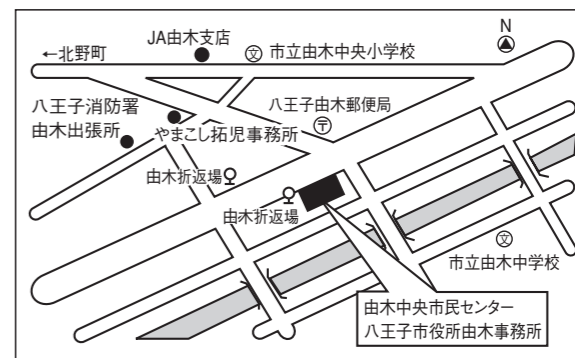
◎=提案会派、○=賛成、×=反対

| 意見書・決議名 | 共産 | 自民 | 公明 | 民主 | みんな | 諸派 | 結果 |
|--|----|----|----|----|-----|-------|----|
| 国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続と拡充を求める意見書 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会東京招致に関する決議 | × | ◎ | ○ | ○ | ○ | ×4、○1 | 可決 |
| 国主導で緊急輸入を、ポリオ不活化ワクチン早期導入のための意見書 | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| サイバー攻撃・情報保全対策に関する意見書 | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 原子力発電所の警備に関する意見書 | × | ◎ | ○ | ○ | ○ | ×3、○2 | 可決 |
| 八ツ場ダム建設事業の早期完成を求める意見 | × | ◎ | ○ | × | ○ | × | 可決 |
| 八王子駅南口に所在する日本貨物鉄道株式会社所有地の活用に関する決議 | × | ◎ | ○ | ○ | ○ | ×3、○2 | 可決 |
| 「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の法制化を求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | 可決 |
| 東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染の除染と全面賠償、充実した復興対策を求める意見書 | ◎ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 可決 |
| 介護保険における国庫負担の引き上げを求める意見書 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| TPP（環太平洋連携協定）への参加に反対する意見書 | ◎ | × | × | × | × | ○3、×2 | 否決 |
| 防災会議に女性の視点をとり入れることを求める意見書 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

よろず相談案内

- とき 2月2日（木）午後7時～9時
3月28日（水）午後7時～9時
- ところ 由木中央市民センター
弁護士が相談に対応します。

※必ず事前にやまこしあてに予約の連絡をお願い致します。



11、12月の主な相談

- 生活保護について（別所、絹ヶ丘、南大沢、長沼町）
- 家賃の支払いについて（南大沢）
- 不要家電製品の引取りについて（松が谷）
- 年金、生活保護について（下柚木）
- 公園の外灯について（南大沢）
- 隣地の樹木伐採について（長沼町）
- 斎場での就労について（別所）
- 先物取引被害について（別所）
- 公園の落ち葉清掃について（上柚木）
- 電磁波対策について（北野台）

連絡先

日本共産党地区委員会 TEL 642-6344 FAX 646-8055
やまこし拓児議員宅 TEL 678-1374 FAX 678-0276

居住環境
整備助成

経済効果は16倍。1千万円の増額補正 当初予算3千万円に対し工事発注総額は4億9千万円

11月30日から12月15日まで、第4回定例市議会が行われました。日本共産党市議団が前回の定例会で求めていた「居住環境整備助成」の増額について、今回1千万円が計上されました。やまこし拓児議員は、一般質問を行ったほか、TTPP参加に反対する意見書の提案説明を行ないました。

市内建築業者の仕事起こし —日本共産党の要望実現—

市では住宅の改修工事等の一部を補助し、市内の施工業者が行うことで、地域経済の活性化を図る「居住環境整備助成」事業を2011年度から始めました。日本共産党が



住宅リフォーム助成として求めてきたものです。6月の受付開始から3ヶ月で当初予算額に達してしまつたため、9月の定例会では代表質疑で、予算額を年度途中でも増やすことを求めました。当初予算3千万円に対し、工事発注総額は4億9千万円にも上り、経済効果は実に16倍にもなります。今回の補正予算で1千万円の上積みが実現し、関係団体からも喜びの声が寄せられています。

居住環境整備補助金 (太陽エネルギー等利用設備工事を除く) の受付を再開

- 【補助対象改修工事等】
- ・木造住宅耐震改修工事
 - ・木造住宅簡易耐震改修工事
 - ・耐震シェルター・防災ベッド設置
 - ・加齢対応・バリアフリー化改修工事
 - ・省エネルギー化・長寿命化改修工事

※太陽エネルギー等利用設備工事は予算額に達したため、新たな受付を行いません。

【問い合わせ先】
まちなみ整備部住宅対策課
TEL 042-620-7260

障害のある子どもたちの成長と 発達の保障を

やまこし拓児議員は、一般質問で「障害のある子どもたちの成長と発達の保障を」求めました。

障害者自立支援法と児童福祉法の一部改正によつて、4月から障害児の通所施設はすべて市町村の事に。関連部署からなる市の「障害児支援検討委員会」をいかし、関係部署が情報を共有し、的確な対応をするよう求めました。

先で十分な保育体制が整わず、障害児の成長と発達を保障することができなくなります。新システムのの問題点について質すと市は、「ニーズに定める制度改正は必要だと考えるが、恒久財源の確保をはじめとした課題が多く残る状況、契約方式や保育料についても同様で、議論の動向を注視していきたい」との回答。市は、公立保育園の役割として障害児保育の充実を掲げており、公立保育園のない多摩ニュータウン地域で、新たな公立保育の整備を求めました。

初市一般 条例制定

障害者の権利を守り、 障壁をなくそう

「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」が全会致で可決されました。この条例は、市内障害者団体のみなさんが勉強会を重ねて作成した「障害者差別禁止条例」を具体化したものです。条例制定を求める請願が全会一致で採択されたことを受け、1年がかりで準備を重ね、今回市長から提案されました。

し、施設利用、情報提供、商品販売、不動産取引、労働者の募集・採用・労働条件、医療、教育、障害者にとつての社会的障壁（社会生活の中で障壁となる事物や慣行など）を除去する努力義務を規定しています。県、政令市以外の一般市としては全国初です。審議した本会議・厚生委員会に大勢の障害当事者が傍聴につめかけました。

介護 介保 —国庫負担の引き上げを —意見書を可決

65歳以上の介護保険料が月平均5千円を超えると試算されています。これ以上の値上げは、高齢者の生活を一層困難なものにしてしまいます。そこで、日本共産党は「介護保険制度における国庫負担の引き上げを求める意見書」を提案。公費負担5割（国庫負担2割）という介護保険制度の根本矛盾を改め、国庫負担割合を引上げることを、



「介護報酬の改定にあたっては、介護職員処遇改善交付金は算入せず、別枠で継続することを求めました。意見書は全会一致で可決されました。

介護報酬の改定にあたっては、介護職員処遇改善交付金は算入せず、別枠で継続することを求めました。意見書は全会一致で可決されました。

「オリンパスホール」の名を 使い続けてよいのでしょつか

市は八王子駅南口再開発と合わせて整備した新市民会館の命名権を売却して「オリンパスホール八王子」と名づけました。このオリンパスが、財テ

クの失敗による損失を隠し、決算報告を偽つたことが明らかになりました。命名権協定書は、企業側が不正行為や社会的信用を失墜する行為を行ったときは、協定を解除できると定めています。同社が刑事告発された場合はもちろん、行政処分であつても法律違反等の不正行為が認定されます。

やまこし議員は協定にもとづいて厳正な対処を求めました。